2013年11月19日（火）進捗報告

# 前回の宿題

* Issueの仕様を考え直す．
* 事前にわかっていることは何か．
* EVMに必要なものは何か．
* Closeしたというだけではわからないことがあるなら，コメントなどで追加入力してもらわなければならない．
* EVMを描くためのデータをissueとして入れておく．時間も合わせる．
* そのデータをプログラムで抽出してEVMを描く（ここは矢吹が手伝う）．
* その結果と比較するための模範解答をExcelで作っておく．

# 前回以前に決めたやること

* 外部設計書を作成すること
* Google Chart Toolsについて調査する
* Google Chart APIについて調査する
* どういう集計をするか考えておく

# 現在の状況

* 外部設計書は作成中である
* Google Chart Toolsについては調査中である
* Googel Chart APIについては以下の参考文献を参照しながら，調査している

参考文献：

<http://www.ajaxtower.jp/googlechart/>

<https://developers.google.com/chart/interactive/docs/reference?hl=ja>

* EVMに必要なこと，どういう集計をするかは，現在以下のように考えている
* EVMに必要なものは以下のように表示する
* PVはIssueをopen時にPMがコメント覧に入力しておく

※資材費がある場合には，PVにあらかじめ資材費分を含んだ数値を入力しておく

* ACはIssueのコメント覧にタスク開始時間をIssueにメンバーが入力しておき，closeした時間とでタスク作業時間がわかる
* EVはIssueを作成時にPMがマイルストーンを設定しておくことによって，進捗度がわかる
* EVMの集計は，日にちごとにPV，AC，EVを集計しチーム全体のEVMグラフを作成する
* PV，AC，EVの計算方法は以下のように考えている

PV：計画予定時間×予定コスト＝計画予定コスト

AC：実際にかかった作業時間×作業コスト＝実際にかかった作業コスト

EV：計画予定コスト（PV）×進捗度＝実績価値

※進捗度はIssueのマイルストーンの数値を使用する

例1：

* Issue1状態：open，タスク開始：マイルストーン：0%
* Issue1状態：close，タスク終了：マイルストーン：100%

例2：

* Issue1状態：open，タスク開始：マイルストーン：0%のときはIssue2の状態はopen
* Issue1状態：close，タスク着手：マイルストーン：50%，Issue1がcloseするとIssue2のマイルストーンは50%になる
* Issue2状態：open，タスク着手中：マイルストーン：50%
* Issue2状態：close，タスク終了：マイルストーン：100%

2013年11月12～2013年11月18日までのタスク開始時間とタスク終了時間の表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| タスク名（Issue名） | 日付 | タスク開始時間 | タスク終了時間（close時間） |
| タスク1 | 2013年11月12日 | 20:00 | 24:00 |
| タスク2 | 2013年11月13日 | 18:00 | 21:00 |
| タスク3 | 2013年11月13日 | 21:00 | 24:13 |
| タスク4 | 2013年11月14日 | 18:00 | 20:12 |
| タスク5 | 2013年11月15日 | 15:00 | 16:36 |
| タスク6 | 2013年11月16日 | 10:30 | 14:32 |
| タスク7 | 2013年11月17日 | 15:00 | 18:00 |
| タスク8 | 2013年11月18日 | 19:00 | 23:00 |

2013年11月12～2013年11月18日までのタスクごとのEVMの表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| タスク名（Issue名） | 日付 | PV | AC | EV |
| タスク1 | 2013年11月12日 | 2000 | 2000 | 2000 |
| タスク2 | 2013年11月13日 | 2000 | 1500 | 2000 |
| タスク3 | 2013年11月13日 | 2000 | 1600 | 2000 |
| タスク4 | 2013年11月14日 | 2000 | 1100 | 2000 |

日にちごとの累計数値の表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| タスク名（Issue名） | 日付 | PV | AC | EV |
| タスク1 | 2013年11月12日 | 2000 | 2000 | 2000 |
| タスク3 | 2013年11月13日 | 6000 | 5100 | 6000 |
| タスク4 | 2013年11月14日 | 8000 | 6200 | 8000 |

仮定：

* 時間で考えることにする（日数で考えるというのもありだが，ここではやらない）
* 時間単価はメンバに見せてもいいことにする．
* Issueは一人に割り振ることにする．
* 時間単価は同じにする．

Issue：認証機能{"start":2013-11-10,"time":20,"cost-per-hour":1000}を作業者に割り振る．「cost-per-hour」のよい表現を調べておく．

認証機能{2013-11-10,20,1000}というのでもいいが，上のような書き方の方が，あとで仕様を変更したときに対応しやすい．

作業者はこのissueへのコメントで進捗報告をする．「達成度」のよい英語表現を調べておく．

コメント：作業開始

コメント：作業終了{"達成度":30}

コメント：作業開始

コメント：作業終了{"達成度":70}

コメント：作業開始

コメント：作業終了{"達成度":100}

このデータをテスト用のリポジトリに入れておく．